

8/15 朝日

介護保険制度、昨年改正

自己負担 □ サービス利用 □

回答者の声 (一部抜粋)

《自己負担2割に》

- ・月2万円の負担増。
利用を減らす相談をしたところ、本人が悲観してデイケアに行くのをやめてしまった。

(40代女性、要介護2)
(の祖母を在宅で介護中)

- ・月2万3千円の負担増。
デイやショートステイの利用を減らしたが、その分自分の時間が持てなくなりイライラが増えた。睡眠不足で自分の健康も不安。

(60代女性、要介護2)
(の夫を在宅で介護中)

- #### 《食費・部屋代の補助対象外》
- ・月6万7千円の負担増。
赤字分はわずかな貯金をおろしてあてている。自分も健康を害したらと考えると不安。

(80代男性、要介護3)
(の妻が特養入居中)

- ・本人の年金だけでは月1万5千円足らず、今年中に施設を退所させて在宅介護に切り替えるつもり。

(60代男性、要介護5)
(の妻が特養入居中)

- ・月6万円の負担増。
介護費用にあてるため土地建物を売却した。

(70代男性、要介護5)
(の妻が特養入居中)

介護保険制度が昨年大きく変わり、一部の利用者の負担が増えている。この影響について、公益社団法人「認知症の人と家族の会」は会員らにアンケートをした。家計が苦しくなり、サービスの利用を減らした人も目立つ。

調査は昨年末から今年1月にかけ実施。認知症の家族を介護する全国の会員らから207件の回答が寄せられた。

1割から2割になった。「2割負担になった」と答えたのは45人。増えた負担額は月数千～3万円と答えた人が多い。家族3人を介護して約5万円増とした人もいた。

入居中の人は、月4万～8万円の負担増となつた人が多かった。回答者の声はホームページ(<http://www.alzheimer.or.jp>)からの見いだる。(十河朋子)

「認知症の人と家族の会」調査

家計苦しく ■ 利用内容変更も

したり内容を変えたりしていた。

介護保険施設を利用する際の食費や部屋代については、一定の資産などがあれば補助を受けられなくなつた。これに関しては約1割の23人が「負担が増えた」とした。

入居中の人は、月4万～8万円の負担増となつた人が多かった。

回答者の声はホームページ(<http://www.alzheimer.or.jp>)からの見いだる。(十河朋子)